



【「チーム大人」で

健全育成】



高知市少年補導センター
所長 吉川 佳余

日頃は、それぞれのお立場での子供たちの健全育成や見守り等による非行防止活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

高知市少年補導センターでは、街頭補導活動をはじめとする健全育成を目的としたさまざまな事業を行っております。毎日の街頭補導では、市内の公園や量販店等を巡回し、子供たちに出会った際には、声かけを行う補導活動を続けております。喫煙等の不良行為をしていたことで、指導を行う声かけもありますが、多くは、非行防止や犯罪被害に遭わないことを目的としての「^{おきな}補い、^{みちび}導く」ための声かけです。夕方、公園で遊んでいる子供たちには、「あまり遅くならないうちに早く家に帰りよ」と声をかけ、また、学校開校時間に公園や駅、また、量販店等にいる子供たちには、「おはよう。今日は学校、休みなの？・・・」等と声をかけ、「大人は見守っているし、あなたのことを気にかけて、心配しているよ」ということを言葉にして伝える声かけも行っています。「補導」という言葉がもつ響きやイメージからは程遠いと感じるかもしれませんが、健全育成の面から言うと立派な「補導活動」なのです。

また、学校や関係機関と連携し、児童生徒等を対象に「情報モラル教育の推進」に取り組んでいます。インターネットについての正しい知識や使い方については、指導資料「あみのめせかい」を配付して学校での指導に活用していただいているところですが、加えて、学校等から依頼があれば、児童生徒等の実態や課題に応じた授業を実施しています。

また、入口型非行を未然に防止するために、小学校・義務教育学校（前期）では「万引き防止を含めた非行防止指導」を実施し、小学校段階から規範意識の醸成を図る取組にも力を入れていきます。中学校・義務教育学校（後期）では「自転車盗難防止指導」に引き続き、取り組んでいきます。

さらに、「児童生徒等自立支援教室」を開設し、一人ひとりの抱えている様々な課題に応じた支援ができる体制を整え、個別でじっくりと学習できる場を提供しています。この教室に通うことで、子供たちの進路を保障する一助となり、将来の夢につながられるよう、心のケアも行いながら、個に応じた学習支援を行います。

コロナ禍での制限された生活を長く続けてきたことで、人と関わることの楽しさを味わうことが難しかった子供たち。豊かな感情を育む大事な時期に、人と接する時は距離をとらなければいけないと教えられた子供たち。しかし、人と関わり、つながりをもつことが実はどれだけ大事なのかということに再認識した我々大人が、子供たちに愛をもって声をかけ続け、接することで、自分のことを好きになれなかったり、自信を持てなかったりする子供たちに「自分は人から大切にされている存在だ」と感じさせることができるのではないかと考えています。これは、高知市少年補導センターとして大事にしている「補導（^{おきな}補い、^{みちび}導く）」の考えであり、今後も心において活動したいと考えています。

本年度も、少年補導センターは、学校や関係機関と情報・行動連携を密にとり、人とのつながりを大事にして、「チーム大人」で子供たちの健全育成に取り組んでまいります。